

# 学校図書館外に広げた読書推進活動事例

**学校名** 川口市立上青木中学校  
**所在地** 川口市上青木西3-9-1  
**電話** 048-265-3318

## 1 本校の概要

全校生徒596名、20学級の中規模校である。学校教育目標は「心身ともに健康な生徒 仲間とともに 心豊かな生徒 考える力を育む生徒」とし、生徒、教職員、保護者、地域がともに力を合わせて充実した学校生活を送れるように日々の教育活動を行っている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ f 本を身近に感じ、積極的に読書を行おうとする態度を育成する取組

### (2) 実践の概要

読書を通じて広い世界に触れ、様々な考え方や物の見方を知る機会を多く得られるような活動を、図書委員会を中心に行っている。活動内容は以下のとおりである。

#### ア 朝読書の推進

毎朝8時25分～8時35分の10分間、各クラスで朝読書を行っている。この活動を行うことで、学校全体が静かに落ち着いた状態で学習に入ることができている。

#### イ おすすめの本の紹介

- ・ 図書委員によるおすすめの本

給食の放送で、図書委員一人一人がおすすめの本の紹介を行った。図書館にある本の中から選書し、その本のあらすじや読んでみるの感想、そしてどんな人に読んでもらいたいかななどを伝えた。これらの紹介文は、チラシとして校内のあいさつ運動の時間に合わせて配付したり、図書館に掲示したりして読んでもらいやすかった。また、委員会活動の際にPOPを作成して図書館内に掲示し、読書意欲を喚起する活動を行った。



- ・ 学校図書館司書によるおすすめの本

週2日勤務する学校図書館司書が学校行事や季節、時事などに関連する本を紹介している。国政の選挙時には、選挙の仕組みに関する本や、総理大臣の仕事、国の仕組みなどの本を特設コーナーに設置し、生徒たちの興味を広げ、関心事項をより深められるような工夫を行った。また、各教科の授業の内容に関連させ、特定の分野を中心にラックにまとめて、生徒の探求活動を助けられるようにしている。



← (人権に関する特設コーナー)



(理科分野の特設コーナー) →

#### ウ 学級文庫・学年文庫の設置

図書館の本を手取るきっかけを作りたいという図書委員会の取組により、昨年度から引き続き学級文庫を設置した。図書委員が選書し、常時5冊から10冊程度を各学級に設置している。2週間を目安に内容を交換し、様々な本に触れる機会を設けている。また、今年度は2学期の行事の期間に学年文庫を設置した。この期間は2か月近く図書館の利用ができなため、学年ごとに40冊程度選書し、学年フロアにラックを置き、そこで貸出業務を行った。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

図書委員会の活動が充実し、生徒が積極的に読書活動の推進に力を注ぐようになった。また、教科担当と連携し、学習と関連付けた図書館運営も行えた。

### (2) 課題

教室から図書館への道のりが長く、生徒の積極的な図書館活用はまだできていない。

### (3) おわりに

図書委員会を中心に、図書館外で本を手取ってもらい図書館に足を運んでもらえるように活動を行った。後期は、生徒が図書館に来て、読書活動がより活発になるようにさらに工夫していきたい。